

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

## 2026年 第25週（6月15日～6月21日）

### 今週のコメント

～手足口病～ 手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

### 定点把握感染症

「手足口病 増加続く」

第25週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,340例であり、前週比7.6%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.44、2.56、2.36、0.83、0.55である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比1%増の984例で、南河内8.07、北河内7.82、中河内7.74、大阪市北部5.77、豊能5.20であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は5%減の463例で、北河内5.50、中河内3.47、南河内2.67である。

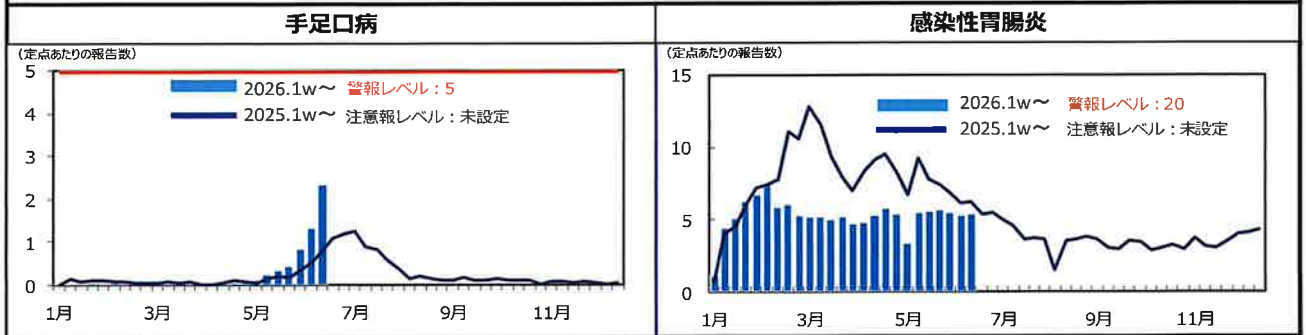
手足口病は76%増の427例で、北河内6.18、大阪市北部4.54、南河内2.93であった。全ブロックで前週から増加した。

咽頭結膜熱は3%減の150例で、中河内2.68、北河内0.95、泉州0.85である。

ヘルパンギーナは37%増の100例で、泉州1.30、大阪市北部1.08、大阪市南部0.65であった。

新型コロナウイルス感染症は35%増の220例で、定点あたり報告数は0.77である。北河内1.89、中河内1.45、南河内1.00、泉州・大阪市西部0.67であった。

急性呼吸器感染症（ARI）は5%増の10,014例で、定点あたり報告数は35.14である。中河内47.79、北河内47.78、南河内46.48、大阪市北部43.50、堺市34.72であった。



※2025年第15週以降、定点医療機関数の変動により、警報レベル・注意報レベルの数値は参考値

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2026年 第25週6月15日～6月21日）

第25週の順位	第24週の順位	感染症	2026年 第25週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2025年 第25週の 定点あたり 報告数	2026年第25週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.44	1%増	6.24	1歳_19%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.56	5%減	1.73	4歳_14%
3	3	手足口病	2.36	76%増	0.80	1歳_51%
4	4	咽頭結膜熱	0.83	3%減	1.03	1歳_33%
5	7	ヘルパンギーナ	0.55	37%増	0.51	1歳_33%
参考		新型コロナウイルス感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	0.77	35%増	1.04	10-19歳_41%
参考		急性呼吸器感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	35.14	5%増	38.45	1-4歳_44%

各疾患の詳細は、大阪府感染症情報センターホームページ（[定点把握疾患、疾患別情報、病原体検出情報](#)）をご覧ください。

第25週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症	
腸管出血性大腸菌感染症	
<p>腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期を置いて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加することから、十分注意が必要です。</p> <p><a href="#">腸管出血性大腸菌感染症(国立感染症研究所)</a></p> <p><a href="#">腸管出血性大腸菌感染症（大阪府感染症情報センター）</a></p>	<p><b>年別累積報告数(大阪府)</b></p>

表2. 大阪府全数報告数（2026年 第25週6月15日～6月21日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ( ) 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内									報告数	府内累積
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	8	1					2			1	4	47
4類感染症	レジオネラ症	4	2		1							1	61
5類感染症	アメーバ赤痢	1							1				23
	急性脳炎	1								1			10
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1								41
	後天性免疫不全症候群	2				1						1	35
	水痘（入院例）	2										2	34
	多剤耐性緑膿菌感染症	1										1	19
	梅毒	7	1			1						5	593
	百日咳	4						2			2	165	
結核 (2026年4月分)	結核 新登録患者数：36名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 21名) (府内累積報告数 290名、内 肺・喀痰塗抹陽性 93名)												

(2026年6月23日 集計分)